

## プロジェクトチームに関する内規

(2002年11月21日制定)

(2013年8月29日理事会承認)

(2016年2月16日理事会承認)

1. 公益社団法人日本工学アカデミー（以下、EAJ）はその目的を達成するため、(1)創造的革新技術の萌芽の模索、評価等による、先見性・創造性のある基礎研究の推進のための調査研究、提言等に関する事業、(2)社会、産業界、学界が工学及び科学技術に関する分野で直面している具体的問題の把握とその解決に関する事業等を行う（定款第4条）。本内規は、当該事業の実施組織の構成とその実務のガイドラインを定める。
2. 活動の対象とする課題毎に、プロジェクトチーム（以下、「チーム」と称する）を編成する。チームは機動性・即時性を発揮し、短期間に調査研究し、見解を取りまとめて、提言、発信活動等を行う。地区におけるチームの編成も勧奨する。
3. チームの活動期間は1年を単位とし、2年以内とする。
4. チームは会員を中心として編成する。チームとして、先ず会長がリーダーを指名する**新コアチーム**と、会員が自発的に編成する**ボトムアップチーム**を置くことができる。
5. 事業の進め方と諸手続きは以下に定める。
  - (1) リーダー：会長が指名する。新コアチームではチーム活動の開始前に、ボトムアップチームでは理事会による設置承認に併せて指名する。
  - (2) コア：リーダーあるいはリーダー候補は他に2人以上の会員を募りコアを編成する。
  - (3) チームプラン：コアは合議の上、提案を**チームプラン**（「チームプラン」書式参照）にまとめて、別途定める期日までに、**政策提言小委員会（以下、小委員会）**に提出する。
  - (4) チーム活動の正式開始：チームプランの小委員会による審査を経た後、理事会による承認をもってチーム活動の正式開始とする。
  - (5) **EAJ メッセージ（暫定版）**の作成：コアは、報告書で記載すべき事項を念頭に入れて、調査研究すべき背景、焦点、国際国内状況などについての主張点を簡潔にまとめた**EAJ メッセージの暫定案**（「メッセージ」書式参照）を、別途定める期日までにまとめ、小委員会に提出する。**EAJ メッセージ（暫定版）**は、小委員会による審査を経た後、理事会の承認を得て、ホームページ掲載などの方法で**EAJ**内外に公開する。
  - (6) 参画者の増強：

- ①コアは、EAJ メッセージの公開、ワークショップの開催などを通じて、調査研究に必要な諸分野の会員および非会員の専門家の参画を広げる。
- ②チーム活動への参画者総数はヒアリング協力者などを含めて20名以上となることが期待される。
- ③チーム活動への参画者の名簿を EAJ メッセージおよび報告書に掲載して公開する。
- ④チーム活動への参画者はリーダーが決定する。参画者の変更は、適宜、小委員会を通じて理事会に報告する。
- (7) 報告書（暫定版）の作成：リーダーは、チームの総意として、**報告書暫定案**（「報告書」書式を参照し、記載予定内容が判る簡潔版）を別途定める期日までにまとめ、小委員会に提出する。報告書（暫定版）案は、小委員会による審査を経た後、理事会の承認を得て、ホームページ掲載などの方法で EAJ 内外に公開する。必要に応じ、同じ手続きで改定する。
- (8) EAJ メッセージおよび報告書の推敲と確定：EAJ メッセージ（暫定版）および報告書（暫定版）は、広く会員や一般の意見を徴集するなどの活動の進展に伴って、改善、更新等を行い、確定案を別途定める期日までに小委員会に提出する。小委員会が指名する複数の会員（専門家）による査読を経た後、理事会の承認を得て、通し番号と確定年月日を与え、確定版とする。確定版はホームページ掲載などの方法で公開する。
6. チームは EAJ 内外を対象に、積極的に双方向コミュニケーション活動を推進する。政府・関係省庁への提言、シンポジウム、ワークショップなどの開催、新聞発表なども行う。
7. チームは外部機関からの委託などによる外部資金の獲得に努める。外部資金の獲得については小委員会、EAJ 事務局と連携して進め、必要に応じ理事会にも報告する。
8. チームが他の団体と共同して行事を開催する場合は、「他団体主催行事の共催、後援、協賛に関する取り扱いについての内規」に従う。
9. プロジェクトの遂行に関し疑義が生じた場合は小委員会及び EAJ 事務局に申し出る。

以上

-----  
付記：

外部資金の報告書と上記報告書との関係についてはさらに検討する必要がある。EAJ としては、外部資金報告書も EAJ 成果の一部として扱いたい。